

敦賀港の将来像と基本理念・方向性

基本理念

「安心のふくい」を未来につなぎ、さらなる挑戦！

SDGsの理念に沿って、国内物流・国際貿易・交流のエントランスとしての責務を受けとめる

将来像

「飛躍するふくい」を先導する敦賀港

4つの方向性



方向性

1 世界水準の高効率な港の実現

- ・太平洋側に最も近い日本海側港湾
- ・北海道・九州を結ぶ日本海航路により日本全域が貨物背後圏

施策Ⅰ 日本海側高規格ユニットロードターミナルの形成

プロジェクト

- ①連続バース、ふ頭用地の造成・再編による輸送効率・荷役効率の向上
- ②自動離着岸装置等の最先端技術の活用による高効率化・省力化・時間短縮
- ③将来的な成長センターとなる東南アジアに向けたダイレクト航路形成
- ④地理的優位性を活かした対岸諸国等との海上物流ニーズへの対応（韓国・中国・ロシア航路の誘致）
- ⑤防波堤増築による港内静穏度の向上
- ⑥企業誘致（製造業、倉庫業等）

施策Ⅱ ふ頭再編・用地造成による貨物集約と関連用地の確保

プロジェクト

- ①貨物種別ごとの集約による高効率化・省力化
- ②物流関連企業の敦賀進出の促進
- ③用地利用の効率化・高度化

方向性

2 日本の物流強靱化への貢献

- ・120分圏内の中京・京阪神と高速道路網で複数ルート

施策Ⅲ 災害時の太平洋側港湾バックアップ港としての機能確保

プロジェクト

- ①災害に強い敦賀港の整備
- ②敦賀港アクセス向上に向けた高規格道路ネットワークの整備促進
- ③企業BCP、リスク分散の観点による集荷
- ④施設の適切な維持管理や計画的な更新

方向性

3 「人道の港敦賀」を核とした交流人口の拡大

- ・北陸新幹線福井・敦賀開業、訪日外国人の増加

施策Ⅳ 港を中心とした観光誘客

プロジェクト

- ①クルーズ船誘致の推進
- ②金ヶ崎周辺の賑わい創出
- ③フェリー乗船客の利便性向上
- ④市民にも愛される港づくり

施策Ⅴ ふ頭再編による貨客分離

プロジェクト

- ①クルーズ・フェリー専用ターミナルの形成
- ②小型船溜まりの整備

方向性

4 持続可能な社会に向けたエコ・ポートの構築

- ・フライアッシュを用いたセメント生産
- ・木質バイオマス発電のためのPKS・木チップの輸入等の実績、社会的要請

施策Ⅵ 低炭素化、再生エネルギー・リサイクルの推進

プロジェクト

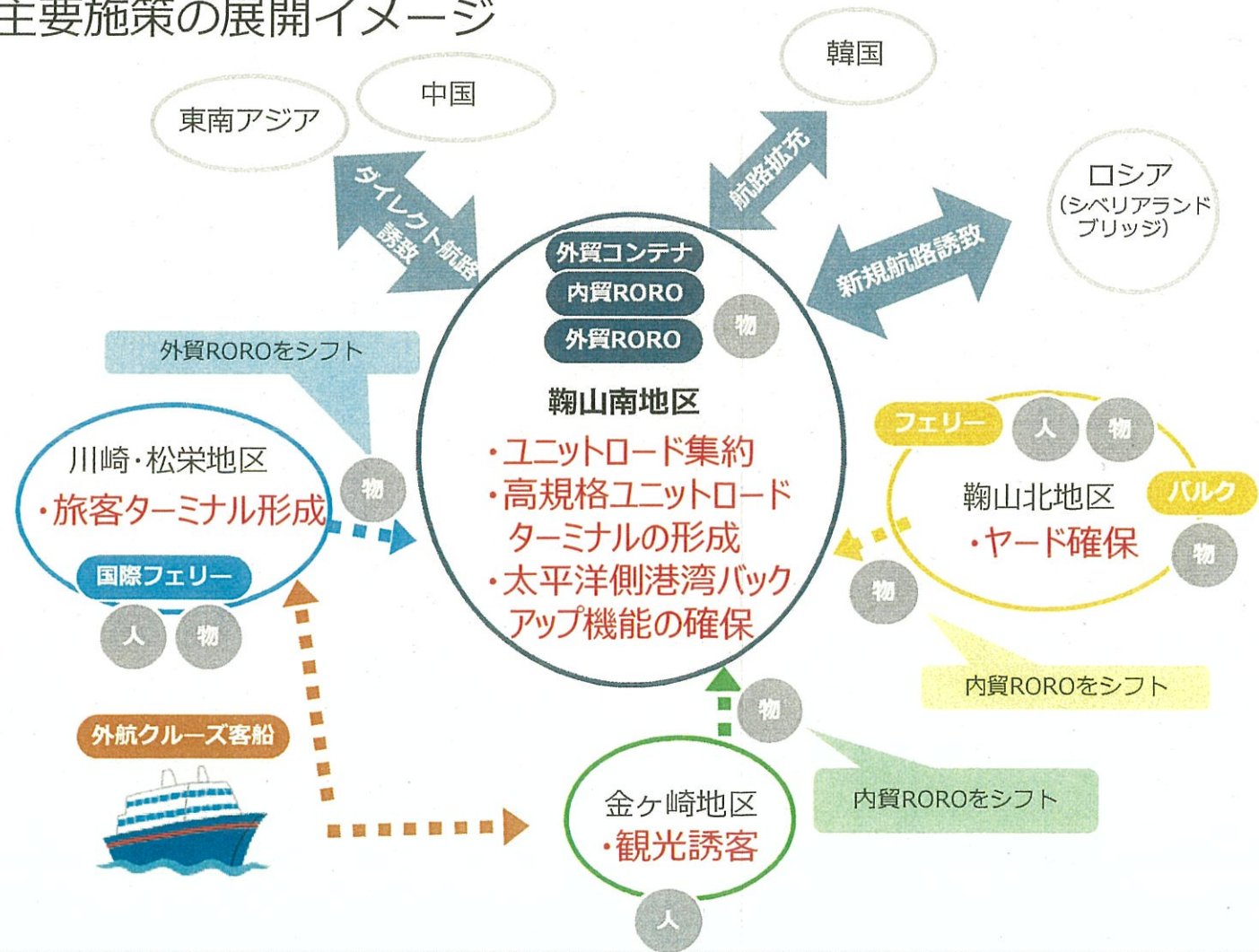
- ①北電石炭火力発電のバイオマス混合燃焼の促進
- ②LNGインフラの誘致
- ③クリーンエネルギーの誘致
- ④モーダルシフトの促進

施策Ⅶ 環境との調和・共生

プロジェクト

- ①養浜等の海岸保全、藻場の保全
- ②水産業の振興

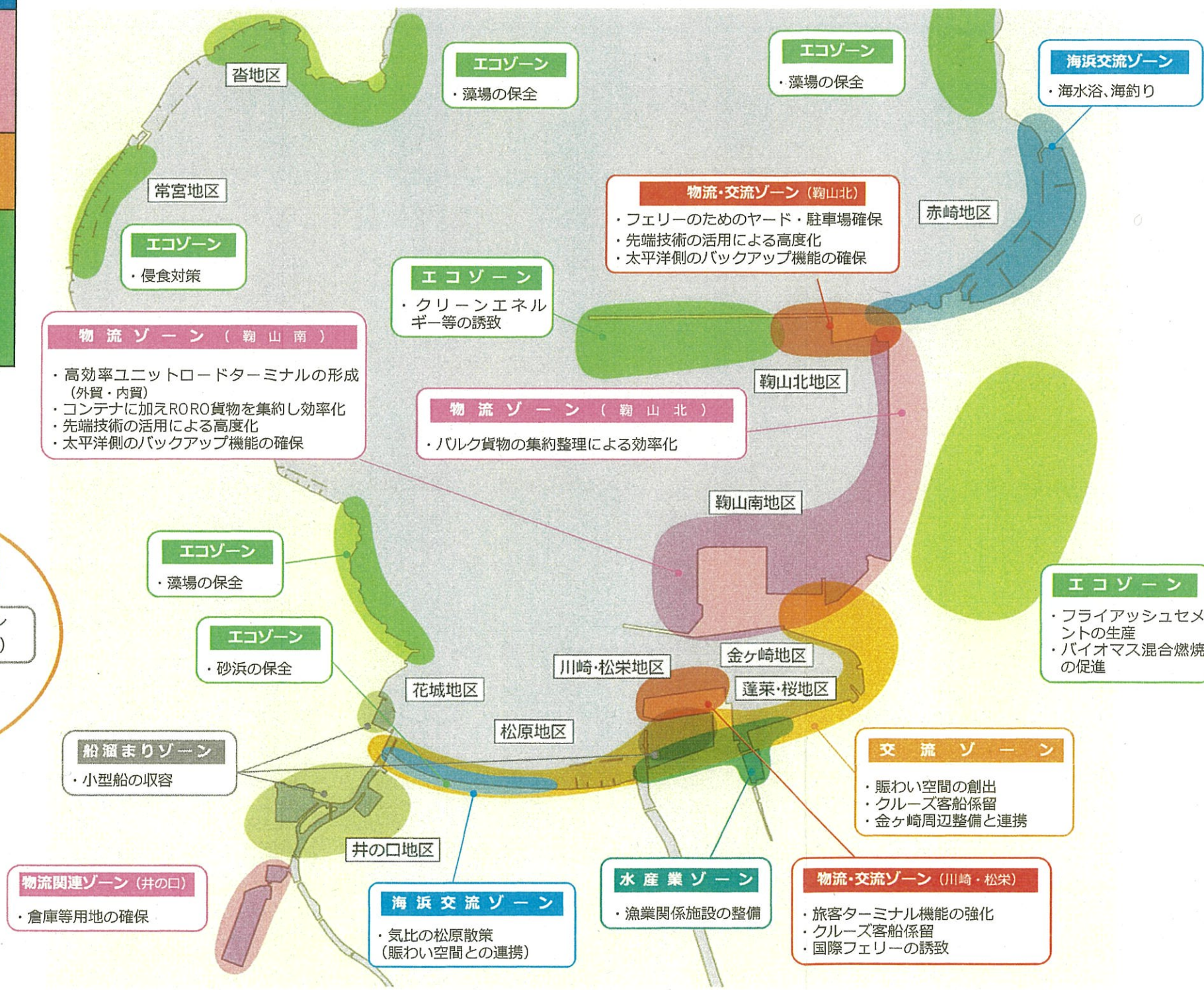
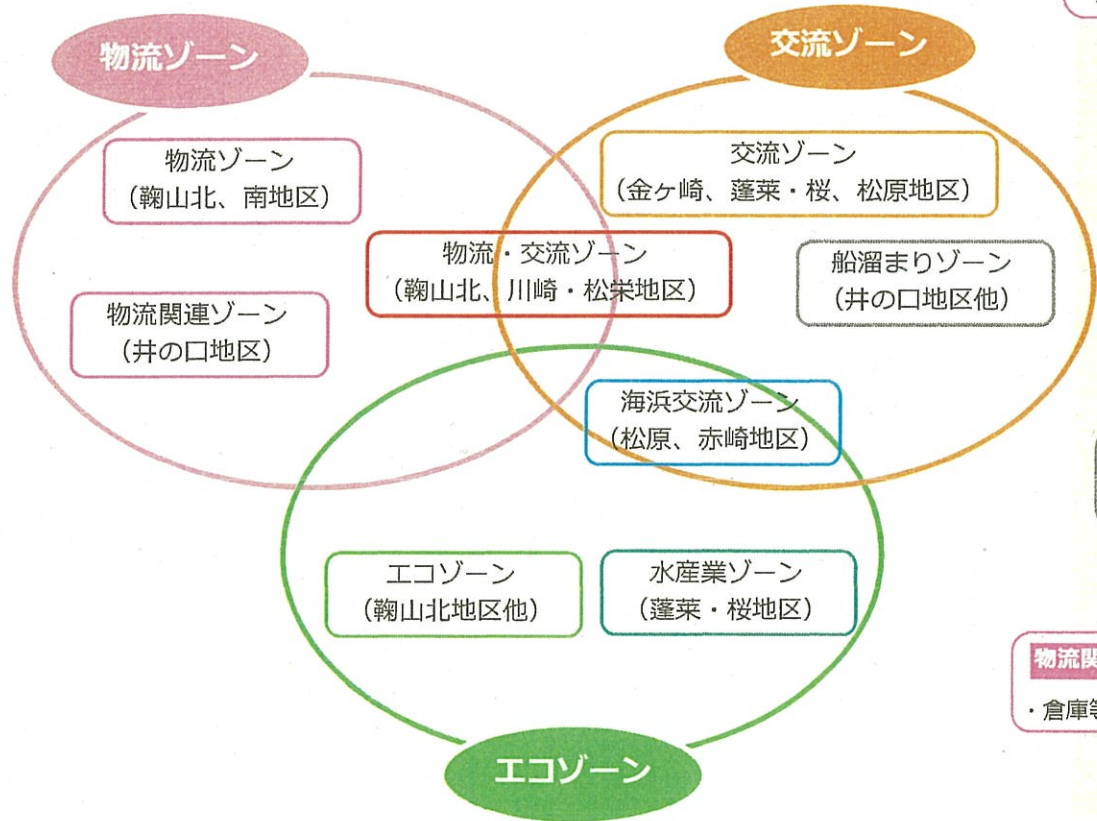
主要施策の展開イメージ



4つの方向性に基づく基本ゾーニング

方向性	ゾーニングの考え方	基本ゾーニング
物流 安全・安心	世界水準の高効率な港の実現 日本の物流強靱化への貢献	物流ゾーン
交流	「人道の港 敦賀」を核とした交流人口の拡大	
環境	持続可能な社会に向けたエコ・ポートの構築	エコゾーン

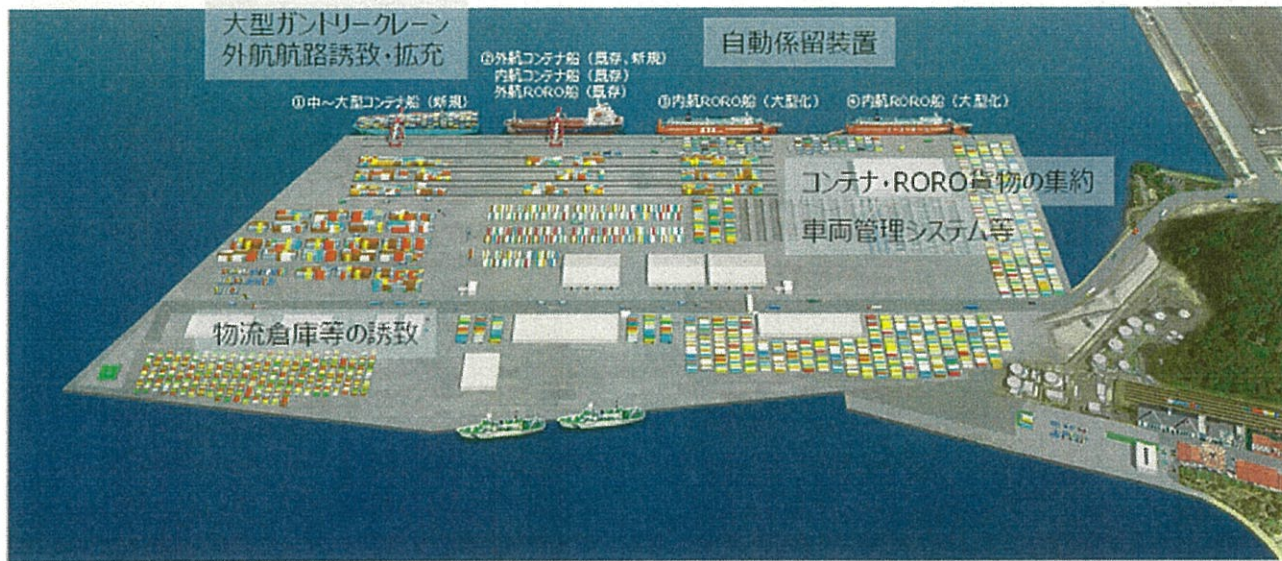
空間利用構想（機能配置案）



展開イメージ

鞠山南地区 (物流ゾーン)
 現在取り扱っているコンテナ貨物に加え、RORO貨物の集約により内外貿ユニットロードターミナルの形成を目指す地区

鞠山南地区の中期イメージ



鞠山南地区の長期イメージ



鞠山北地区 (物流・交流ゾーン)
 ふ頭再編によりバルク貨物、フェリー貨物の効率的な荷役を実現するとともに将来的な民間による新規事業展開の支援を目指す地区

鞠山北地区の中期イメージ



鞠山北地区の長期イメージ

